



## 所信声明 出産における伝統と文化 Heritage and Culture in Childbearing

### 背景

国際移住機関（International Organization of Migration）<sup>1</sup>によると、母国以外で暮らす人の数は過去 35 年で 2 倍以上になったとされる。この膨大な人の移動は途上国から先進国への動きだけでなく、先進国から先進国、あるいは途上国間でも発生している。その結果、多くの国で人口構成が変化を続け、多くの地域社会で文化的背景が著しく変化している。この絶え間なく変化する文化的・社会的環境の中にあっても、出産は女性にとってだけでなく、その家族と恐らくは地域社会全体にとっても、健康上かつ心理社会的・情緒的に重要な出来事であることは変わらない。助産師が行うケアでは、助産師の出身国とは異なる環境であっても、個々の女性の文化的・社会的ニーズが考慮されるべきである。『世界保健報告 2005』では、「出産にまつわる儀式と、これを家族生活において特別で重要なものとして守り続けることには価値がある」と記載されている。このことは、自らがケアを提供する集団の多様性を常に意識すること、そしてその意識を最適なケアに継続的に応用することを助産師に求めている。

家族や地域社会において出産の際に見られる態度や活動の目的は通常、その出来事を祝うことはもとより、母親と子どもを助け支援することにある。助産師は出産をめぐる活動に加わるよう求められたり招かれたりすることもあれば、家族のプライバシーを尊重して見守ることもある。女性と家族の文化を知り、助産師に何が期待されているのか、どうすれば家族が最も良い形で文化的活動を行えるかを助産師が承知していることも、適切な助産ケアの一環である。時折、母親や子どもに有害と思われる文化的慣習について助産師が気づくこともある。そのような場合、助産師は適切に家族に教育とカウンセリングを行うべきである。

<sup>1</sup> 国際移民機関「移民と人口動態」  
[http://www.google.nl/url?url=http://www.rcmvs.org/documentos/IOM\\_EMM/v2/V2S02\\_CM.pdf&rct=j&frm=1&q=&esrc=s&sa=U&ved=0ahUKewjhk6qdrdXQAhXHDxoKHe8sDbcQFggsMAI&sig2=riEiKMGgw4Op1Gf0yP9xFA&usg=AFQjCNH8ncXPTa6K-XSX9TzMFV3Unveaw](http://www.google.nl/url?url=http://www.rcmvs.org/documentos/IOM_EMM/v2/V2S02_CM.pdf&rct=j&frm=1&q=&esrc=s&sa=U&ved=0ahUKewjhk6qdrdXQAhXHDxoKHe8sDbcQFggsMAI&sig2=riEiKMGgw4Op1Gf0yP9xFA&usg=AFQjCNH8ncXPTa6K-XSX9TzMFV3Unveaw)

## 所信声明

ICM は、助産師と彼らがケアを行う女性と家族が、自らの人生に影響を及ぼす信念体系を持って文化的・伝統的な決断を下すときに、これに十分かつ豊富な知識を持って関与すべき敬意と自由を受け取るべきだと考える。

ICM は、すべての文化において少女と女性に強要される有害な伝統が存在する可能性があるという考えを保持している。ゆえに、こういった有害な慣習を変えるために、女性と協力して活動することを約束する。

ICM は、保健政策の開発と、安全で容認と実施が可能であり、またこれまで常に活用されていた出産時の保健医療サービスの立案と導入について、すべての文化の人々が完全に関与することを促進する。この関与の基盤には、人間の尊厳への尊重と、専門的な助産業務の一つである協力関係のモデルがある。

妊娠と出産を取り巻くさまざまな文化的伝統と慣習があることを認識したうえで、助産師は次のように行動する。

- 女性や出産を迎える家族と協力して、文化的配慮に富む、安全で差別のない助産サービスを確立・維持するうえでリーダーシップを発揮する。
- 共に取り組む家族の文化と伝統について熟知し、女性や出産を迎える家族に害とならない慣習を尊重する。
- 害となるような慣習がある場合には、地域社会と連携して有害な慣習を廃絶する。

## 会員団体への推奨

会員団体には、この所信声明を活動の基準として活用しながら、助産師、女性、政策立案者および地域社会と連携し、文化的に安全な保健医療サービスを導入することが奨励される。

## 関連 ICM 文書

ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理綱領

ICM. 2014 基本文書 助産ケアの理念とモデル

ICM. 2017 所信声明 正常な妊娠、出産、産褥期のための適切な妊産婦へのサービス

## その他の関連文書

WHO. 2005 世界保健報告 Make every mother and child count. Geneva, Switzerland. (2005)

United Nations Human Rights Study Series #10: Protection of the Heritage of Indigenous People (1997)

Demography and migration: An outlook for the 21<sup>st</sup> Century. By Reiner Munz. Migration Policy Institute. Policy Brief. No. 4 September 2013

## 2005年ブリスベン国際評議会にて採択

2017年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。